

県 北

三次支局 ☎0824(63)5155 FAX(65)0088
 庄原支局 ☎0824(72)0149 FAX(75)0029
 安芸高田支局 ☎0826(42)0063 FAX(47)0020
 東城ステーション ☎08477(2)0560

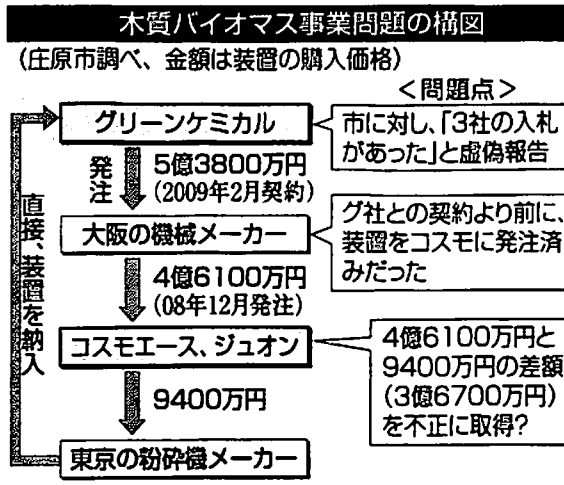
バイオマス問題 取引介在の2社

庄原市、全員協で報告

最大3億円余不正取得か

庄原市は17日、木質バイオマス事業を共同で進めていた環境機器製造シユオン(広島市安佐南区)と自己破産手続き中との関連会社フリンケミカル(庄原市)の補助金不正受給問題について、市議会全員協議会で報告した。フ社の木粉微粉砕装置購入で、シユオンと子会社のコスモエース(東京)と自己破産手続き中との最大3億6700万円の利益を不正に得ていた可能性があるとした。(菊本直)

市によると、フ社はメーカー製の装置を、約大阪の機械メーカーを5億3800万円で購通じ、東京の粉砕機メーカー入したとしていた。



実際は、関連会社のシユオンとコスモが取引に介在。両社は東京のメーカーから装置などを9400万円で購入し、それを大阪のメーカーに4億6100万円で売る契約をしていたという。

市は、装置の価格の差額を最大で3億6700万円、両社が不正に取得した疑いがあるとみている。

装置購入に關しフ社には、市を通じて国の補助金2億5600万

円が出ている。価格を増してフ社は、補助金を余計に受け取っていた疑いがある。

また、フ社と大阪のメーカーとの契約についてフ社は「(大阪のメーカーを含む)3社から入札があった」と市に報告している。だが、大阪のメーカーが2社から取った見積書を利用し、実態がないのに入札があったように

に見せかけた疑いを、市は指摘している。

さらに、フ社と大阪のメーカーが装置納入の契約をしたのは2009年2月。しかし大阪のメーカーがコスモに装置を発注したのはそれより前の08年12月だったとしている。

市は近く、補助金適正化法違反と詐欺の疑いで、シユオンとコスモの西本徹郎元社長、フ社の西本清宏社長、の2人を告訴する方針。高橋利彰副市長は「ここまですべて調べられる最大限。不正が見つかつたので早急に告訴したい」としている。

事業撤退などを市議会申し入れ

庄原市議会は17日、同市の木質バイオマス事業に關わる化学製品製造グリーンケミカル(同市)の補助金不正受給問題について、滝

口孝彦市長に対し、事業からの完全撤退の一日も早い同社の告訴の事実関係の全容を市民に至急説明することの3項目を文書で申し入れた。竹内光義議長名で提出した。

市長往来 17日

三次 午前11時、県庁で県・市町合同記者発表。午後1時、広島市東区でJR西日本広島支社の杉本孝行支社長。3時、中区で県・市町共同会議。

庄原 午前11時、広島市中区で県農業農村整備事業推進協議会役員会。

午後1時、同区で県森林協会理事会。3時、同区で県・市町共同会議。

安芸高田 午前11時、県庁で県・市町合同記者発表。11時40分、県庁で商工労働局の津山直登局長、中下善昭副知事、環境県民局の抹香尊文局長、県民生活部の下村節子部長ほか。午後3時、広島市中区で県・市町共同会議。